

2022年7月1日
損害保険ジャパン株式会社
SOMPOリスクマネジメント株式会社

次世代エネルギーのサプライチェーン構築を支援するリスクソリューション 「SOMPO-ZELO（ソンプゼロ）」シリーズの始動 ～【国内初】「水素輸送専用保険」の開発～

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：白川 儀一、以下「損保ジャパン」）とSOMPOリスクマネジメント株式会社（取締役社長：桜井 淳一、以下「SOMPOリスク」）は、CCS・CCUS^{※1}やアンモニア燃料船など周辺技術を含め、水素・アンモニアを始めとする次世代エネルギーのサプライチェーン構築を支援するリスクソリューションシリーズ「SOMPO-ZELO（ソンプゼロ）」を始動しました。

併せて次世代のクリーンエネルギーである水素の輸送向け専用保険の販売を2022年7月1日から開始します。なお、水素輸送向けの専用保険の開発は国内初となります。

※1「CCS」は、「Carbon dioxide Capture and Storage」の略で、排出されたCO₂を、ほかの気体から分離して集め、地中深くに貯留・圧入する取組み。「CCUS」は、「Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage」の略で、分離・貯留したCO₂を利用する取組み。

1. 背景

2020年10月、政府は2050年にカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。その実現のため、2020年12月25日に経済産業省が策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」では、「洋上風力・地熱・太陽光」「水素・燃料アンモニア」などの次世代エネルギーが重点分野として選定されており、CCS・CCUSやアンモニア燃料船をはじめ次世代エネルギーに関連した周辺技術の開発が期待されています。次世代エネルギーおよびこれらの周辺技術を社会実装し、安定的に利活用するためには、サプライチェーンにおける事故に保険で備えるだけでなく、リスクの低減・防止を図ることが必要です。

このたび、損保ジャパンとSOMPOリスクは次世代エネルギーに対するリスクソリューションとして「SOMPO-ZELO」シリーズを始動し、「保険」や「リスクマネジメントコンサルティング」の開発・提供を通じて新たなサプライチェーンの構築を支援していきます。



「SOMPO-ZELO」の「ZELO」は「Zero carbon × Logistics」の略称です。また、「ネットゼロ（カーボンニュートラル）」「リスクゼロ」を目指し、「ゼロから設計した（＝既成概念にとらわれず設計した）専用のリスクソリューション」を提供することで、次世代エネルギーのサプライチェーン構築および社会実装を支援したいという想いが込められています。

特に水素は、さまざまな資源から作ることができ、エネルギーとして利用しても二酸化炭素を排出しません。また、日本は、「燃料電池」分野での特許出願件数が世界一である等、水素エネルギーに関連する高い技術を持っています。こうした背景から、エネルギー分野においても水素利用に対する期待が高まり、2030年の電源構成では水素・アンモニアで1%を目指すという目標が政府からも示されています。

このたび、損保ジャパンでは「SOMPO-ZELO」シリーズの一環として、水素の輸送における保険引受と事故対応の知見を活かし、「水素輸送専用保険」を開発しました。

本取組みを通して、次世代のクリーンエネルギーの実用化を促進し、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」という「SOMPOのパーパス」の実現を目指します。

2. 商品・サービスの概要

「SOMPO-ZELO」および専用保険の概要は以下のとおりです。

(1) リスクソリューション「SOMPO-ZELO」シリーズ

項目	概要
概要	水素・アンモニア、CCS・CCUS やアンモニア燃料船をはじめ、次世代エネルギーに関連した周辺技術等のカーボンニュートラルに必要な次世代のエネルギーサプライチェーンの社会実装を後押しする専用リスクソリューションシリーズ。「保険」と「リスクマネジメントコンサルティング」の開発・提供を進め、次世代エネルギーのサプライチェーンの実装と安定的な運用に貢献していく。
第一弾	「アンモニア輸送専用保険」・アンモニアを取り扱う施設のリスク調査サービス（2022年4月リリース済）※2
第二弾	「水素輸送専用保険」

※2 https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/news/2022/20220401_2.pdf

(2) 「水素輸送専用保険」

項目	概要
引受種目	外航／内航貨物海上保険・運送保険
契約者・被保険者	商社・エネルギー関連企業
対象貨物	水素（H2）
保険料率	貨物の輸送量や輸送用具・輸送ルート等を考慮しオーダーメイドで設計
補償内容	保険の目的物の減少・異物混入など水素特有のリスクや第三者への法律上の賠償責任を広くカバー

3. 今後について

損保ジャパンとSOMPOリスクは今後成長が見込まれるクリーンエネルギーの普及を促進することで、持続可能な社会の実現を目指し、SDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」の取組みに貢献します。また、今後も損保ジャパンはブランドスローガン「Innovation for Wellbeing」に則した独自色のある商品を開発し、お客さまの課題および社会課題の解決を通じて、よりよい社会を実現していきます。

以上